

令和3年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

## 保健体育

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

### 注意事項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから4ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 試験終了後に実技試験の指示があります。
- 7 この問題用紙は、持ち帰ってください。

1 高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）に関する(1)～(6)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、教科「保健体育」の目標である。文中の(①)～(⑤)に当てはまる語句を答えよ。

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 各種の運動の(①)に応じた技能等及び社会生活における(②)について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

(2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、(③)を養う。

(3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに(④)と(⑤)を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

(2) 領域「体づくり運動」で示されている領域の内容2つのうち、新たに示された内容を答えよ。また、従前に示されていた内容も答えよ。

(3) 領域「水泳」において、内容の取扱いに示されているスタートの指導について、入学年次はどのように取り扱うこととしているか答えよ。

(4) 領域「武道」において、「柔道」及び「剣道」以外に、学校や地域の実態に応じて、履修することができる内容のうち、従前から示されている内容に加えて、新たに履修させることができるようになった内容を3つ答えよ。

(5) 他教科とは異なり、科目「体育」において、内容のまとめりごとに「学びに向かう力、人間性等」に対応した指導内容が示されている理由を答えよ。

(6) 科目「体育」の内容の「B器械運動」から「Gダンス」までの領域の授業時数は、どのような点を考慮して配当することとしたか答えよ。

2 領域「陸上競技」について、(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 次の①～④のような入学年次の生徒に対して、どのように指導すればよいか、具体的に答えよ。

① ハードル走で、スピードを維持してハードルを越すことができない。

② リレーで、前走者と次走者がスピードにのった状態でバトンの受け渡しができない。

③ 走り幅跳びで、力強く踏み切ることができない。

④ 長距離走で、自己に適したペースを維持して走ることができない。

(2) 高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）に示されている投てき種目を全て答えよ。また、投てき種目による事故防止のために配慮すべきことについて、「活動場所の工夫」と「練習のルール」の観点からそれぞれ具体的に答えよ。

(3) 高等学校学習指導要領解説「保健体育編・体育編」（平成30年7月）の入学年次の知識及び技能として、「短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ること」と示されている。「中間走」及び「つなぎを滑らかにして」とはどのようなことか、それぞれ説明せよ。

- (4) 走り高跳びの授業で生徒にアンケートを実施したところ、走り高跳びが「楽しくない」と回答した生徒がその理由として挙げたもののうち、主なものを以下のA及びBにまとめた。生徒が意欲的に走り高跳びの授業に取り組むことができるようにするためには、今後の授業において、どのような指導上の工夫が必要であるか。A及びBの内容に対して、それぞれ答えよ。

【主なアンケートの意見】

A	・バーが脚に当たると痛い	・けがをしそう	・バーが怖い
B	・同じ人が繰り返し跳んでいる	・失敗すると友だちにからかわれる	

- 3 科目「保健」について、(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、高等学校学習指導要領解説「保健体育編・体育編」(平成30年7月)で示されている科目「保健」の見方・考え方についての文章である。後の①～③の問いに答えよ。

保健の見方・考え方については、疾病や傷害を防止するとともに、a 生活の質や生きがいを重視した健康に関する観点を踏まえ、「個人及び社会生活における課題や情報を、b 健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、(ア)の軽減や生活の質の向上、健康を支える(イ)と関連付けること」であると考えられる。

- ① 文中の(ア)、(イ)に当てはまる語句を答えよ。
- ② 下線部aについて、WHO(世界保健機関)が提唱した、寝たきりや認知症などの介護状態の期間を平均寿命から差し引いた、心身ともに自立し健康的に生活できる期間を何というか答えよ。
- ③ 下線部bについて、WHOが1986年のオタワ憲章で提唱した健康づくりの概念を何というか答えよ。また、この概念の定義を答えよ。
- (2) 薬物乱用と健康について、次の①～③の問いに答えよ。
- ① 薬物乱用者が、薬物を断つことにより現れる薬物特有の耐えがたい苦痛の症状を何というか答えよ。
- ② 「なぜ薬物乱用はいけないのか。」というテーマで様々な側面から意見を出し合うグループディスカッションを行うこととした。この場合に設定することが考えられる側面を3つ答えよ。
- ③ 薬物乱用が及ぼす社会への悪影響を答えよ。
- (3) 科目「保健」の内容のまとまりについては、個人及び社会生活における健康課題を解決することを重視する観点から従前の3項目を4項目とした。4項目を全て答えよ。

- 4 次の文は、高等学校学習指導要領解説「保健体育編・体育編」（平成30年7月）の領域「武道」における入学年次の知識及び技能について述べられたものである。後の(1)～(7)の問いに答えなさい。

武道について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や a 見取り稽古 の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開すること。
- ア 柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、 b 連絡技 を用いて、手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすること。
- イ 剣道では、相手の動きの変化に応じた c 基本動作 や基本となる技を用いて、 d 相手の構え を崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすること。

- (1) 下線部 a の「見取り稽古」とはどのようなことか、答えよ。
- (2) 下線部 b の「連絡技」について、①二つの技を同じ方向にかける技の連絡、②二つの技を違う方向にかける技の連絡をそれぞれ2つずつ答えよ。
- (3) 下線部 c の「基本動作」とはどのようなことか、3つ答えよ。
- (4) 下線部 d の「相手の構えを崩し、しかけたり応じたりする」ことを指導する際に、どのようなことに留意する必要があるか、答えよ。
- (5) 入学年次における武道の授業の導入で、武道とはどのような運動であるかを生徒に説明したい。その際、どのように説明すればよいか具体的に答えよ。説明は、「武道とは」から始まり「運動である。」で終わること。
- (6) 柔道で大外刈りを指導する際、どのような事故の発生に注意すべきか、3つ答えよ。また、その事故を防止するための指導上の留意点を答えよ。
- (7) 柔道の固め技で、抑え込みとなるための3つの条件を全て答えよ。

5 次の(1)～(13)の問いに答えなさい。

- (1) 水泳で、二人一組をつくり、互いに相手の安全を確かめさせる方法を何というか答えよ。
- (2) 水泳のクイックターンとはどのようなターンか、説明せよ。
- (3) バasketボールにおけるファウルとバイオレーションの違いを説明せよ。
- (4) バasketボールにおけるマンツーマンディフェンスのメリットとデメリットを答えよ。
- (5) サッカーにおけるセットプレーとはどのようなプレーか、説明せよ。
- (6) ハンドボールにおいて、次の①、②の場合ではどのようにゲームが再開されるか、答えよ。
  - ① 防御側のプレーヤーがゴールエリアに入って相手の得点を妨げた場合。
  - ② 攻撃側のシュートしたボールをゴールキーパーがはじき、ボールがアウターゴールラインから出た場合。
- (7) 卓球において、サービスのトスはボールに回転を与えないように何cm以上投げ上げなければならないか、答えよ。
- (8) バレーボールのアンダーハンドパスの技能を指導する際のポイントを4つ答えよ。
- (9) バレーボールにおいて、足や手のひらがセンターラインを越えて完全に相手コートに入ってしまう反則を何というか、答えよ。
- (10) バドミントンにおいて、ネット際のシャトルを相手のネット際に落とすショットを何というか、答えよ。
- (11) ダンスのシンメトリーについて、説明せよ。
- (12) 練習やトレーニングによって技能や体力を向上させるためには、それまで行っていた運動より難度や強度が高い運動を行う必要がある。この原理を何というか、答えよ。
- (13) 屋外での授業において生徒を集合させて指示や説明を行う際に、生徒が集中して話を聞くことができるために教師の立つ位置としてどのようなことに留意する必要があるか、2つ答えよ。

科目	保健体育解答用紙	2枚中の1	受験番号		氏名	
----	----------	-------	------	--	----	--

(3年)

1

(1)	①		②		③	
	④		⑤			
(2)	(新たに示された内容)			(従前に示されていた内容)		
(3)						
(4)						
(5)						
(6)						

2

(1)	①	
	②	
	③	
	④	
(2)	(投てき種目)	
	(活動場所の工夫)	
	(練習のルール)	
(3)	(中間走)	
	(つなぎを滑らかにして)	
(4)	A	-----
	B	

3

(1)	①	ア		イ		②	
	③	(概念)					
		(定義)					
(2)	①						
	②						
	③						
(3)							

科目	保健体育解答用紙	2枚中の2	受験番号		氏名	
----	----------	-------	------	--	----	--

(3年)

4

(1)						
(2)	①			②		
(3)						
(4)						
(5)						
(6)	(どのような事故)			(指導上の留意点)		
	(どのような事故)			(指導上の留意点)		
	(どのような事故)			(指導上の留意点)		
(7)						

5

(1)			(2)			
(3)						
(4)	(メリット)			(デメリット)		
(5)						
(6)	①		②		(7)	
(8)	-----			-----		
(9)				(10)		
(11)				(12)		
(13)						

以下はあくまでも解答の一例です。

科目	保健体育解答用紙	2枚中の1	受験番号		氏名	(3年)
----	----------	-------	------	--	----	------

1

(1)	①	特性	②	健康・安全	③	他者に伝える力
	④	健康の保持増進	⑤	体力の向上 各1点		
(2)	(新たに示された内容) 実生活に生かす運動の計画			(従前に示されていた内容) 体力を高める運動 各1点		
(3)	水中からのスタートを継続する					2点
(4)	空手道		合気道		銃剣道(少林寺拳法) 各1点	
(5)	従前より「態度」を内容として示しているから。					2点
(6)	内容の習熟を図ることができるように考慮して配当する。					2点

2

(1)	①	3歩又は5歩のリズムを最後のハードルまで維持して走るよう指導する。 など				2点
	②	次走者はスタートを切った後スムーズに加速して、スピードを十分に高めるよう指導する。 など				2点
	③	踏切りで、上体を起こして地面を踏みつけるようにキックし、振り上げ脚を素早く引き上げるよう指導する。 など				2点
	④	リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走るよう指導する。 など				2点
(2)	(投てき種目) 砲丸投げ やり投げ					※完答で1点
	(活動場所の工夫) 活動場所をコーンで区切るなどして、投げる方向に人が入らないようにする。 など					2点
	(練習のルール) 投てき者は必ず周囲の安全を確認してから投てきを行う。 など					2点
(3)	(中間走) スタートダッシュでの加速を終え、ほぼ定速で走る区間の走りのこと					2点
	(つなぎを滑らかにして) スタートダッシュからの加速に伴って動きを変化させ滑らかに中間走につなげること					2点
(4)	A やわらかい素材のバーを使い、バーに当たった時の痛みや恐怖心を緩和する。					2点
	B ルールを守ることや一人一人の違いに応じた挑戦を大切にすることが重要であることを指導する。 など					2点

3

(1)	①	ア	疾病等のリスク	イ	環境づくり 各2点	②	健康寿命 1点
	③	(概念) ヘルスプロモーション 1点					
(定義) 人びとが自らの健康をコントロールし、改善できるようにするプロセス			1点				
(2)	①	退薬症候(または禁断症状) 1点					
	②	健康面		法律面		学校・学校・友人面 など (人間関係でも可) 各1点	
	③	薬物乱用者による凶悪犯罪の発生 など					1点
(3)	現代社会と健康		安全な社会生活		生涯を通じる健康		健康を支える環境づくり 各1点



以下はあくまでも解答の一例です。

科目	保健体育解答用紙	2枚中の2	受験番号	氏名	(3年)
----	----------	-------	------	----	------

4

(1)	(武道特有の練習方法であり、)他人の稽古を見て、相手との間合の取り方や相手の隙について勢いよく技をしかける機会、技のかけ方や武道特有の「気合」などを学ぶこと						2点		
(2)	①	大内刈りから 大外刈り	釣り込み腰から 払い腰	など	②	大内刈りから 背負い投げ	内股から 大内刈り	など	各1点
(3)	構え		体さばき		基本の打突の仕方		など		各1点
(4)	しかけ技や応じ技では、対人での練習を通して既習技を高めるとともに、相手の構えを崩したり相手の動きや動きや技の変化に応じたりして、自由に打突することができるよう指導する。								2点
(5)	武道とは、武技、武術などから発生した我が国固有の文化であり、相手の動きに応じて、基本動作や基本となる技を身に付け、相手を攻撃したり相手の技を防御したりすることによって、勝敗を競い合い互いに高め合う楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。								2点
(6)	(どのような事故) 取が上体を浴びせて倒れ込み、受が後頭部を打ってしまう。			(指導上の留意点) 受が防御で踏みとどまった場合は、それ以上同体となって倒れ込むことを禁止する。					
	(どのような事故) 取が受の両脚を刈り、受が後頭部から落ちてしまう。			(指導上の留意点) 受の両脚を刈り上げることを禁止する。					
	(どのような事故) 受が上体をひねって手をつき、手首や肘を痛める。			(指導上の留意点) 受は無理な防御をせずに、潔く受け身をとるよう指導する。					
(7)	受が仰向けの姿勢		取が受とほぼ向き合っている		取が脚を絡まれるなど受から拘束を受けていない		など		各1点

5

(1)	バディシステム		(2)	水中で身体を一回転させ、脚で壁を蹴るターン					
(3)	ファウルはプレーヤー同士の接触によるものやスポーツマンらしくない行為による反則で、バイオレーションはボールの扱い方や時間に関するものなどファウル以外の禁止されている行為を指す。								など
(4)	(メリット) 個々に求められる役割が比較的単純で、守備の戦術をそれほど理解していない初心者でも実行しやすい。				(デメリット) 個人で対応する守備なので、個人の能力が相手の選手より劣る場合、攻撃を抑えることが難しい。				など
(5)	フリーキックやコーナーキックなどボールを止めてから蹴ることのできるプレーのこと								など
(6)	①	7 m スロー	②	ゴールキーパー スロー	(7)	16 cm 以上			
(8)	肘を伸ばして両腕で作った面でボールを受ける				ボールの落下点に入る				
	腕を振らないようにする				膝の屈伸を使ってボールを運ぶ意識を持つ				など
(9)	パッシング・ザ・センターライン				(10)	ヘアピン			
(11)	左右対称に動くこと				(12)	オーバーロード(過負荷)の原理			
(13)	風上に立たない				太陽を背にしない				など

各1点